

個人投資家様向け説明会

2015年3月22日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード：8732



- I. FX取引について
- II. マネーパートナーズグループのご紹介
- III. 当社グループの収益構造、特徴と強み
- IV. 業績の推移
- V. 経営戦略
- VI. 当社の株主還元について

参考資料

I. FX取引について

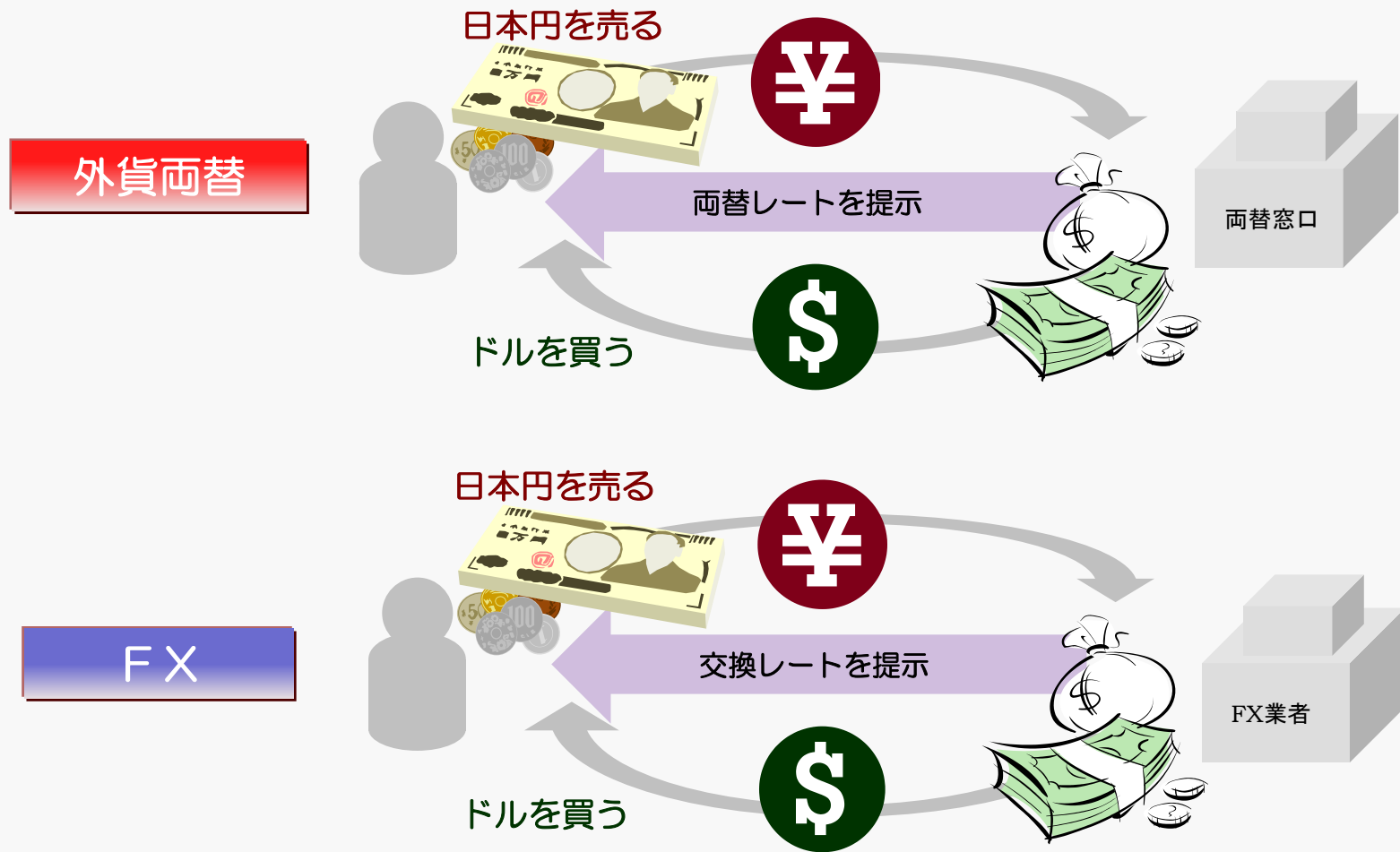




FX取引とは①

Money Partners Group

- ◆ FXは“foreign exchange”（外国為替取引）の略称
基本的には、外貨両替と同じ取引





FX取引とは②

Money Partners Group

◆ 外国為替差益

FX、外貨両替とも、外国為替相場の動きを利用して利益を得ることが可能

①1ドル=100円の
ときにドルに交換

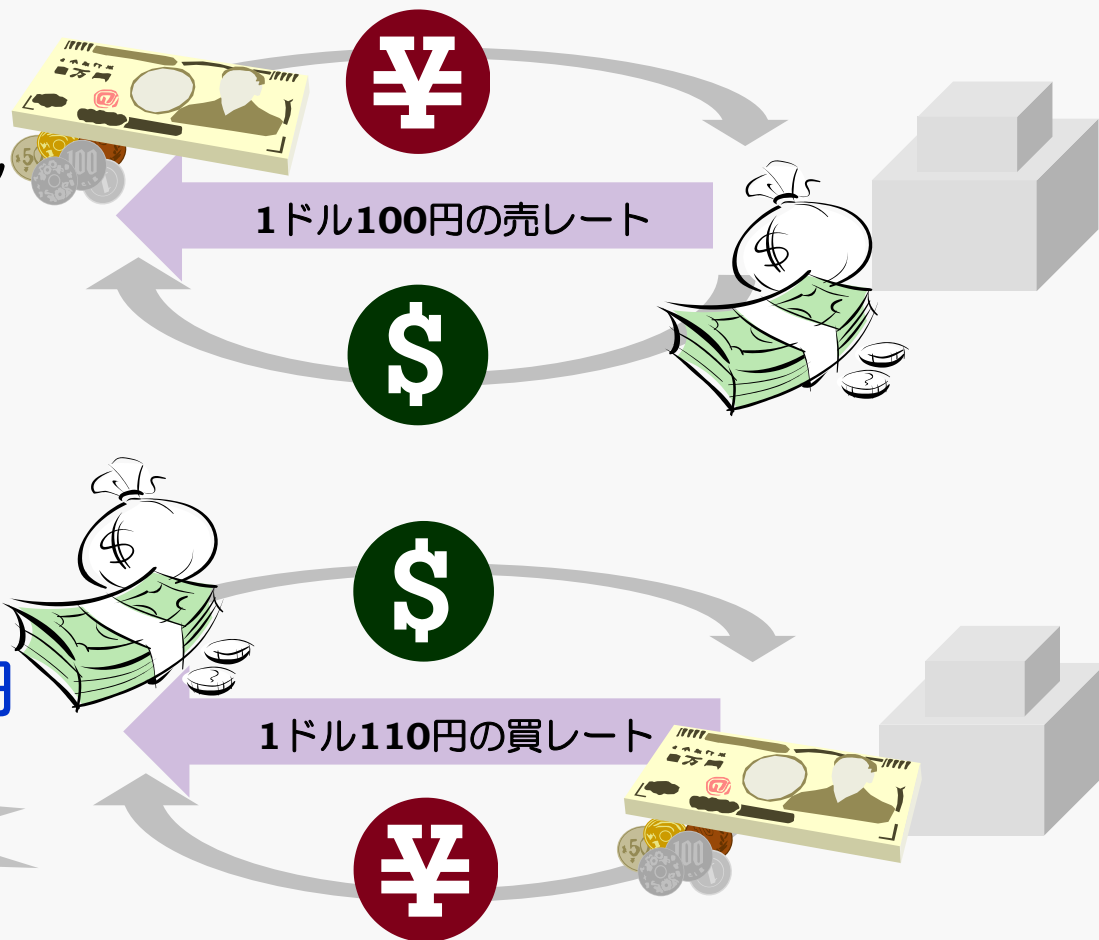
100万円⇒1万ドル

相場変動（円安）

②1ドル=110円の
ときに円に交換

1万ドル⇒110万円

10万円の為替利益





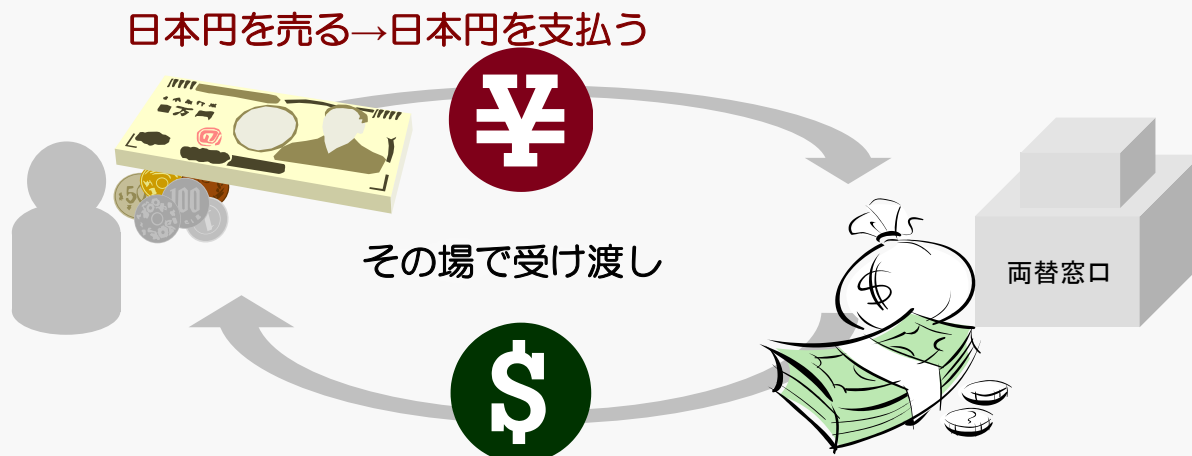
FX取引とは③

Money Partners Group

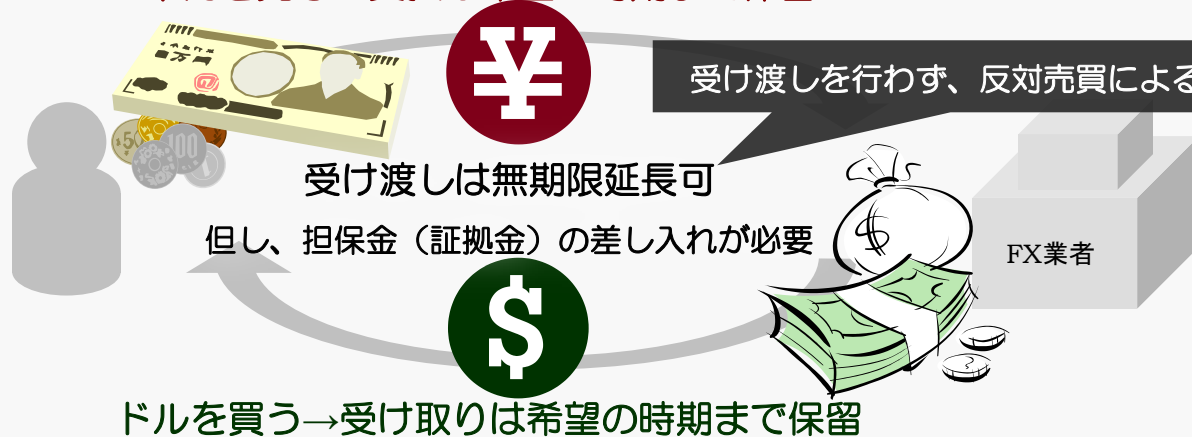
◆ FXと外貨両替の違い

FXは、現物（通貨）の受け渡しのタイミングを選べる

外貨両替



FX





◆ FXの特長

現物（通貨）の受け渡しを即時行わないことにより・・・

■ 高い資金効率

現物の受け渡しを別にする、取引に必要な資金は手付金（証拠金）のみ
（必要証拠金は、取引総額に対して最小4%＝レバレッジ最大25倍）

■ スワップポイント

現物の受け渡しを行う（もしくは反対売買による決済）までの間、買い通貨と売り通貨の金利差をスワップポイントの受け渡しにより日々調整
→金利の高い通貨（ex.ドル）を買い、金利の低い通貨（ex.円）を売った場合、
金利差に相当する収益を受け取ることができる

リアルタイムのレート提示を行うことにより・・・

■ 割安な取引コスト

お客様への提示レートが市場の相場と連動することから、外貨両替等1日に1回のレート提示を行う場合と比べ業者にとっての市場変動リスクがほぼゼロになるため
お客様にとって有利なレート提示が可能に



FX取引とは④

Money Partners Group

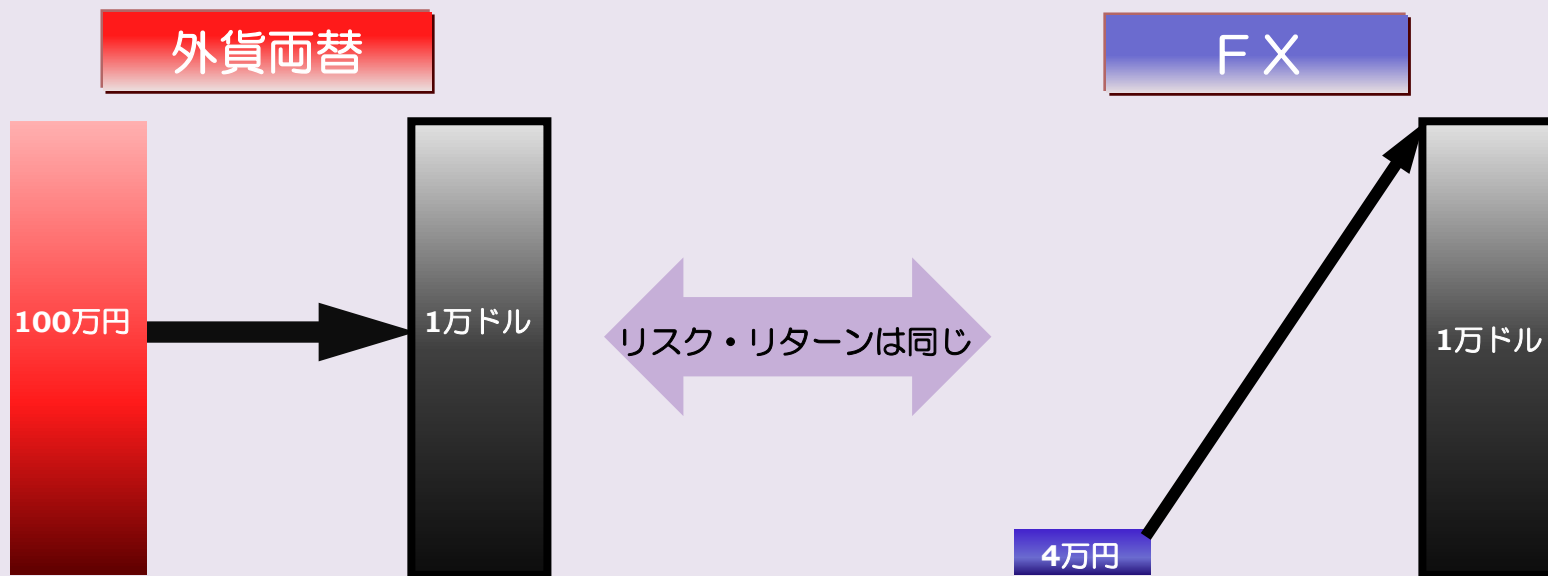
◆ FXの特長

現物（通貨）の受け渡しを即時行わないことにより・・・

■ 高い資金効率

現物の受け渡しを別にする、取引に必要な資金は手付金（証拠金）のみ
（必要証拠金は、取引総額に対して最小4%＝レバレッジ最大25倍）

1ドル＝100円の時に1万ドル投資する場合



1万ドルと交換するために100万円が必要

証拠金として4万円あればよい



FX取引とは④

Money Partners Group

◆FXの特長

現物（通貨）の受け渡しを即時行わないことにより・・・

■ スワップポイント

現物の受け渡しを行う（もしくは反対売買による決済）までの間、買い通貨と売り通貨の金利差をスワップポイントの受け渡しにより日々調整

→金利の高い通貨（ex.豪ドル）を買い、金利の低い通貨（ex.円）を売った場合、**金利差に相当する収益を受け取ることができる**

外貨両替

FX

現金のため利息等は付かない

高金利通貨の例・・・

豪ドル/円 1万ドル（想定元本約93万円）あたりの買建スワップポイント

パートナーズFX 45円/日・・・年間約1.7%相当

パートナーズFX nano 64円/日・・・年間約2.5%相当

※上記はいずれも2015年3月13日現在



FX取引とは④

Money Partners Group

◆FXの特長

リアルタイムのレート提示を行うことにより・・・

■ 割安な取引コスト

お客様への提示レートが市場の相場と連動することから、外貨両替等1日に1回のレート提示を行う場合と比べ業者にとっての市場変動リスクがほぼゼロになるため
お客様にとって有利なレート提示が可能に

外貨両替

売値と買値の差・・・5～6円



1万ドルを買ったときのコスト
=2万5,000円～3万円

FX

売値と買値の差・・・0.5銭



1万ドルを買ったときのコスト
=25円



FX取引の金融商品としての制度整備

【税制優遇】

平成23年度税制改正（うちFXに関連する部分）

「申告分離課税の適用（一律20%）」 「繰越損失控除が3年間可能に」



金融商品としてのメリットUP

【投資家保護】

レバレッジ規制

最大25倍まで可能！

&

ロスカット
ガイドライン制定
損失を限定！

&

顧客預り資産
の信託義務
資産の安全性確保



透明化・健全化の更なる進展



外国為替相場の状況（ドル／円相場の推移）



外為市場では2012年の政権交代を機に2007年夏以来の円高トレンドが終焉し円安トレンドに転換



FX取引の市場規模について①

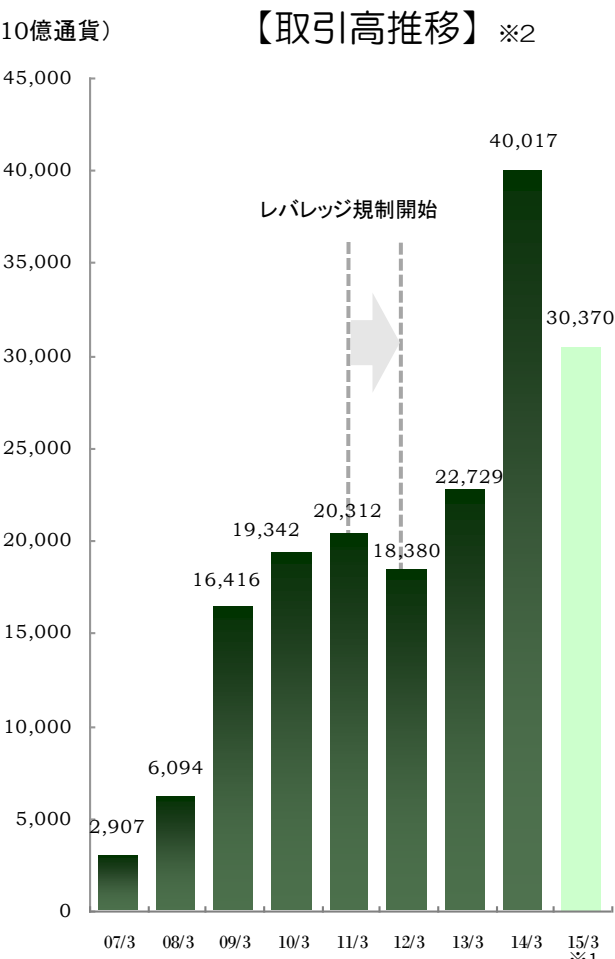
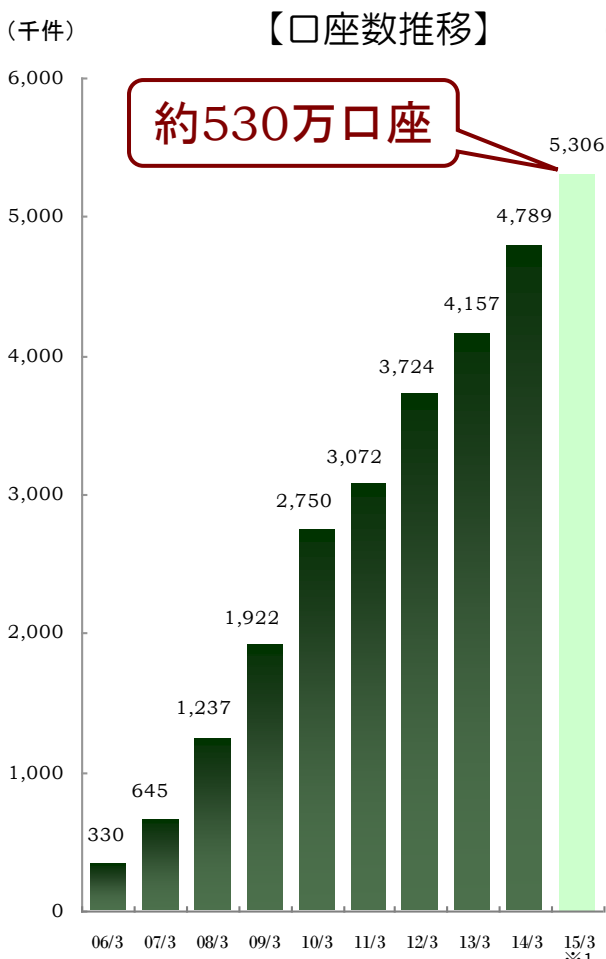
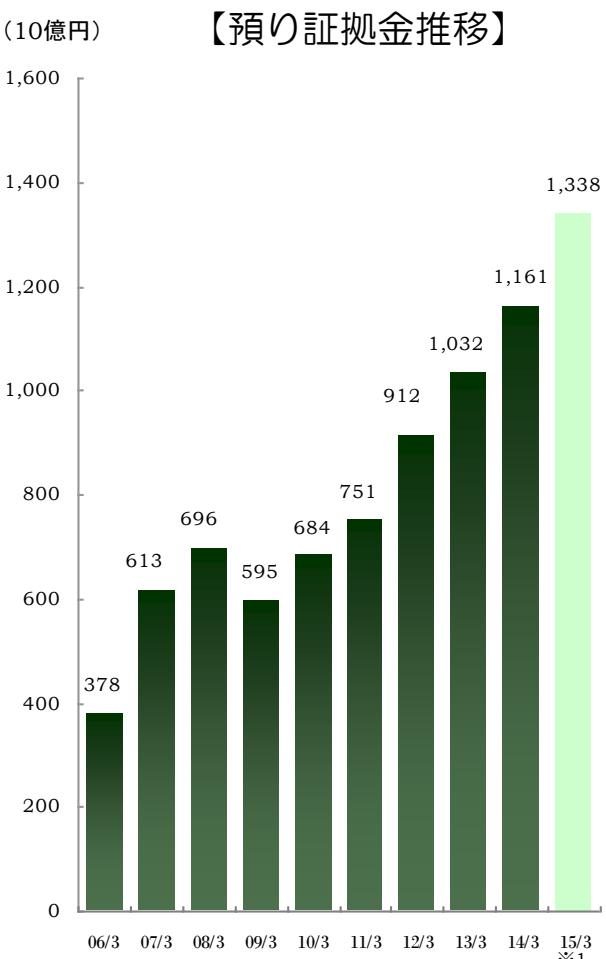
Money Partners Group

取引高についてはレバレッジ規制により減少する局面はあったものの、
金融商品としての認知度の向上等によりFX市場は順調に拡大

【預り証拠金推移】

【口座数推移】

【取引高推移】※2



矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2014」より当社作成

(※1) 矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2014」より当社作成のため、15年3月期の数値は実数ではありません。

(※2) 対象は店頭取引のみ。10年3月期以降の取引高推移は金融先物取引業協会の統計情報から作成。

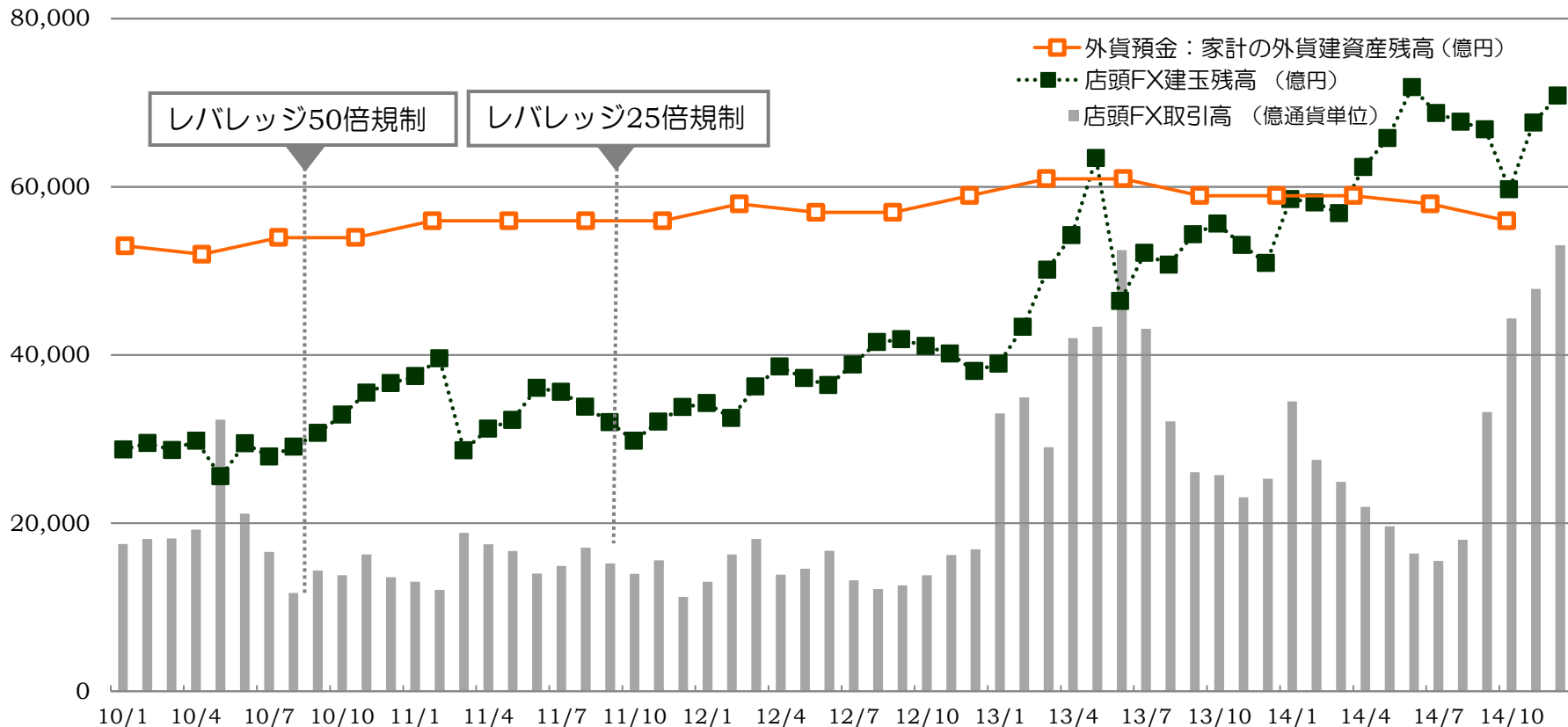


FX取引の市場規模について②

Money Partners Group

■ 店頭FX建玉残高（※）及び店頭FX取引高の推移 ※買建玉と売建玉の合計（投資残高に相当）

（億円／億通貨単位）



※日本銀行統計時系列統計データ及び金先協会統計資料より当社作成

取引高（フロー）は外国為替市場の影響を受け増減するものの、
建玉残高（ストック）は堅調な成長により外貨預金残高（家計部門）を上回る。



FX取引の市場規模について③

Money Partners Group

パスポート（一般旅券）発行数
(2014年1月～12月累計)

321万件

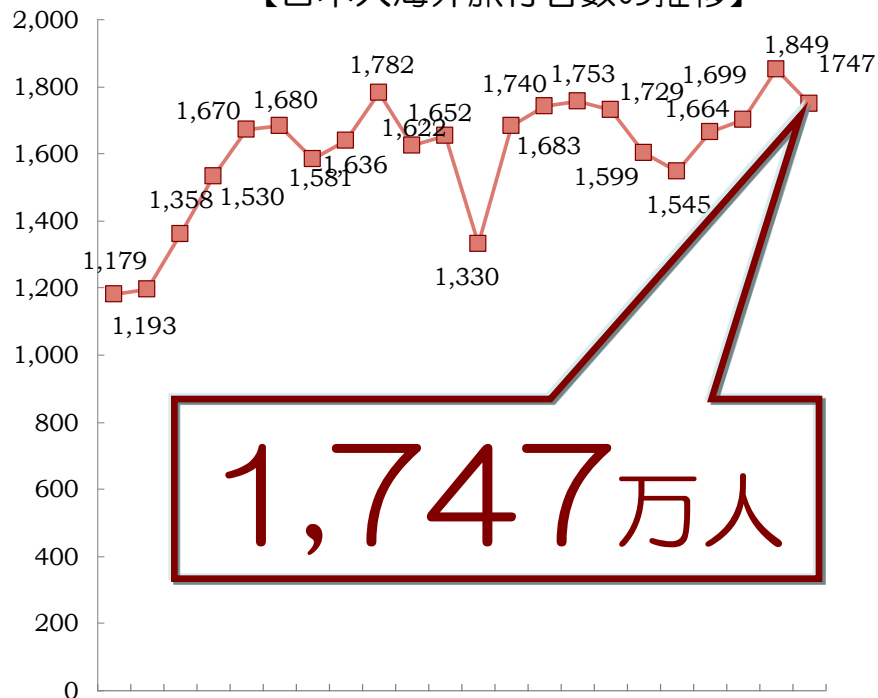
パスポート有効旅券数
(2014年12月31日現在)

5年旅券 748万人分
10年旅券 2,335万人分

計 3,083万人分

※外務省「旅券統計（平成26年1月～12月）」より当社作成

【日本人海外旅行者数の推移】



92 93 94 95 96 97 98 99 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13

※平成25年版観光白書より当社作成



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、約3,000万人以上
FXの透明化・一般化が進めば、FX市場の成長も加速

Ⅱ. マネーパートナーズグループのご紹介





FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立
（その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更）

FX専業業者で東証一部上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場（※現東証JASDAQ市場）にFX専業業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録（当時）
- さらに2012年5月東証二部へ上場、2013年5月東証一部へ指定変更

FX業界最大手の一角

- 顧客口座数約25万口座、預り証拠金約476億円（2015年2月末現在）
- 上場FX業者としては国内トップ、未上場を含めたFX業者の中でもトップクラス



会社ロゴ



社是

DON'T STOP!

とめない、とまらない。

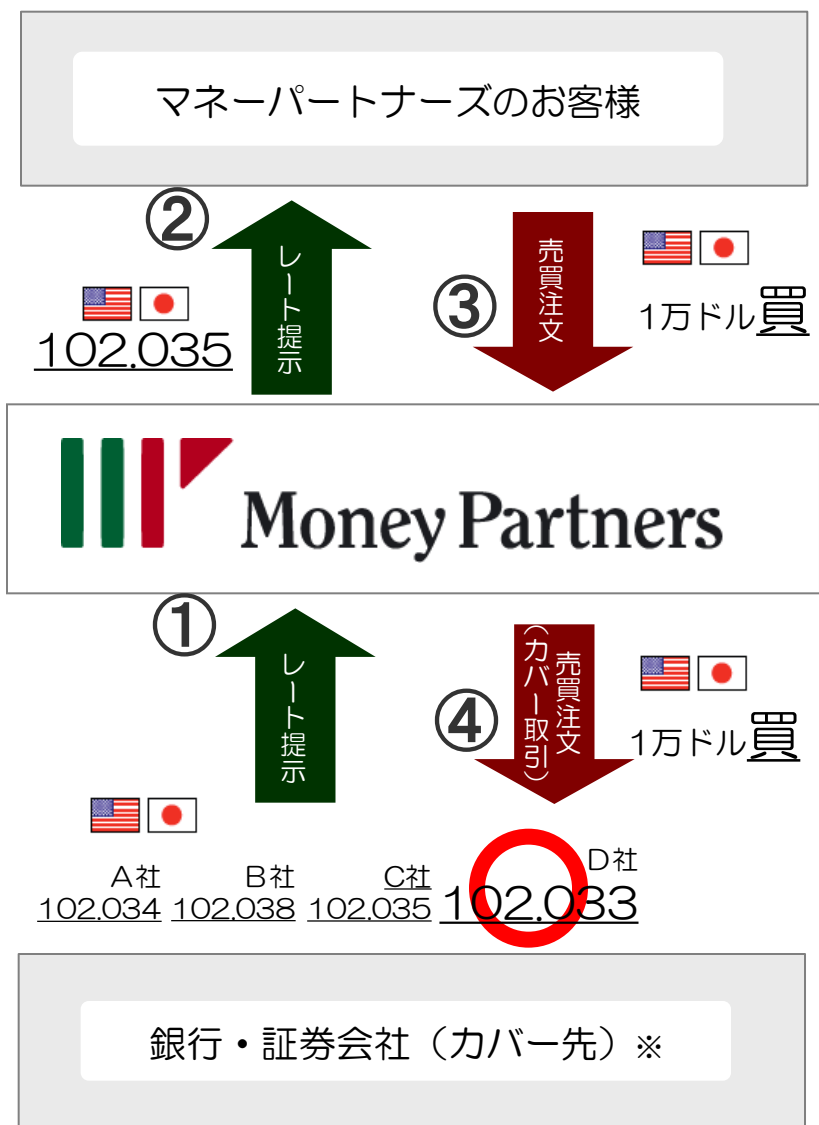
Ⅲ. 当社グループの収益構造、特徴と強み





当社グループの収益構造

Money Partners Group



- ① 複数の銀行・証券会社（カバー先）よりレート提示を受ける
- ② お客様へレートを提示する
- ③ お客様からの売買注文を受ける
- ④ お客様からの売買注文を、銀行・証券会社（カバー先）へカバーする

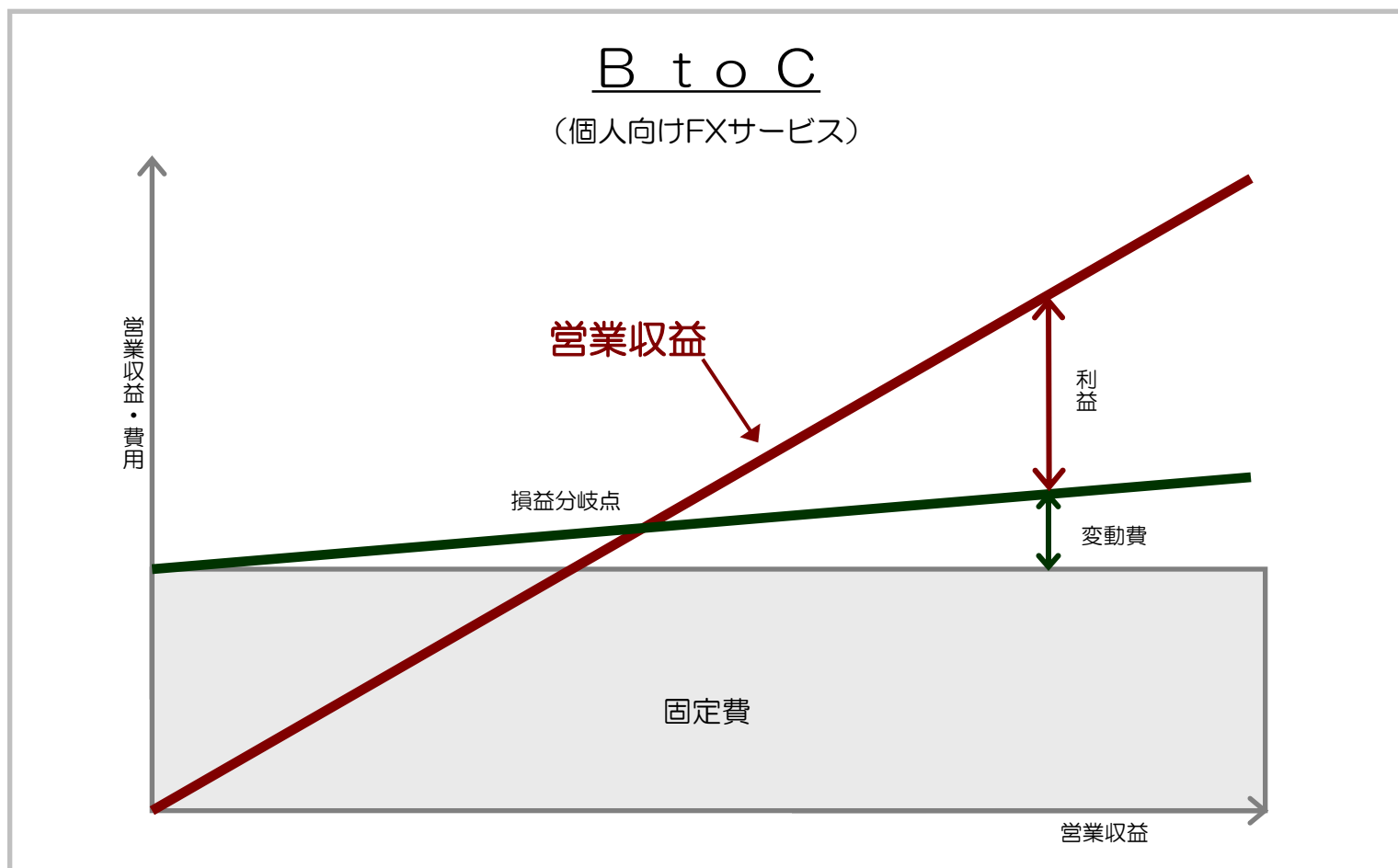
お客様との取引レートとカバー先との取引レートの差額が収益

$$102.035 - 102.033 = 0.002円$$

$$1万ドル \times 0.002円 = \mathbf{20円}$$

※ドイツ銀行、パークレイズ銀行、大和証券、UBS銀行等、計16社

当社グループの基本的な利益構造



※上記のほかに金融機関向けFXサービス等からの収益（B to B）もあります。

変動費の割合が小さく、損益分岐点を超えた後は営業収益に比例し利益も大きくなる。



差別化商品・サービス

Money Partners Group

マネパカードはマルチカレンシーの海外専用プリペイドカード

2014年9月3日
サービス開始!

海外旅行先のATMで
現地通貨のお引き出し



マスターカードの使えるお店で
ショッピング&グルメ



1枚で5通貨

1枚のカードで米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル、香港ドルの5通貨をチャージOK!

クレジットカード手数料の 実質半額!

今なら手数料相当分キャッシュバック!
最大4ヶ月、実質手数料無料になります!

16歳から 使える

日本にお住いの16歳以上の方であれば
原則どなたでもお持ちいただけます。

外貨両替「日本最安」 マネパだから

外国為替の専門家、マネーパートナーズ
だから実現できるサービスです!

安心サポート 24時間365日

盗難や紛失はサポートデスクにご連絡
いただければ、その時点の残高を保障!

年会費無料

カードショッピング保険も付帯して、
年会費は永年無料!費用はかかりません!



差別化商品・サービス

日本 最安

お得で便利! マネパの
外貨両替・受取サービス

利用者急増中!

成田・羽田・関空・セントレア

空港で外貨を受取れます!

なんと
最大 **98%OFF**
両替手数料

主要通貨の受取可能! 圧倒的な低コストを実現!

(外貨受取サービス
対応通貨)



米ドル **93%OFF**



ユーロ **95%OFF**



英ポンド **98%OFF**



スイス
フラン **95%OFF**



韓国
ウォン **30%OFF**



外貨紙幣の取扱いを 始めてみませんか?



2020年の東京オリンピック開催に向けて、今後、外国人観光客のさらなる増加が見込まれています。

外貨紙幣での支払いを受け入れることで、「国際観光都市浅草」をアピールし、外国人観光客が親近感、安心感を持って立ち寄れる雰囲気を作ることができます!

**We accept
USD & EUR here!**
(bills only)

外貨紙幣使えます!

マネパートナーズ

メディアへの露出! テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」にて放映。
浅草商店連合会と提携し、小売業やサービス業等のリアル店舗への支援活動を推進。
新たなブランディングチャネルを開拓。



差別化商品・サービス

Money Partners Group

◆ 証拠金100円から！『パートナーズFXnano』

商品性を改良しビギナー層向け施策に注力した新しい「nano」
米ドル円スプレッド0.3銭など業界最安水準を実現



マネーパートナーズは少額FX取引の元祖！！



◆ 『証券取引、代用有価証券サービス』

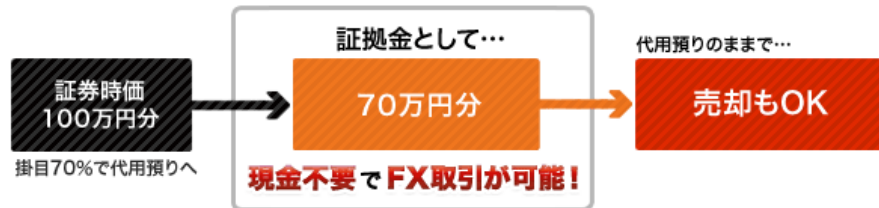
売却手数料が完全無料でお取引いただけます。
保有株式を代用掛目70%で評価し、現金不要でパートナーズFXがお取引いただけます。

ここがスゴイ！ マネパの証券取引

預けた株が証拠金！ **現金不要でFX取引可能!** 掛目 **70%**

手数料がダンゼンお得！ **売却手数料が完全無料** 約定代金に関わらず **0円**

代用有価証券を使ったFX取引のイメージ



◆ 100%成立する安心レート

マナーパートナーズは、すべらない!
約定力 No.1
6年連続「約定力」No.1
(※) 先野経済研究所実施の「FXサービス/フォーマンステスト」において



Money Partners

スリッページ無し! ※1

PCからのストリーミング注文は、提示レートで100%売買が成立、スリッページ設定自体がありません。

リジェクト無し! ※2

リジェクトは発生しない仕様のため、提示レートで100%売買が成立します。



その他のFX業者

スリッページ有り!

スリッページ設定をしない場合、提示レートでは成立せずに何度も注文のやり直しを求められるリスクがあります。

リジェクト有り!

相場急変時にはリジェクトのリスクがあり、リジェクトされた場合は再注文が求められます。

(※1) 注文した価格からすべて(スリッページして)異なる価格で成立すること、またはそのズレのこと。
 (※2) 注文を出した値段で約定ができず注文がキャンセル(拒否)されてしまうこと。

◆ 金銀の取引サービス

取引ルールはFXとほぼ同じ!
 簡単取引で**収益チャンス大!**

ボラティリティが魅力の金・銀取引

証拠金 **1,050円から!**

金銀取引のススメ

◆ 『トレードレポート』

トレードの通信簿で、あなたの投資が進化する!

取引スタイル ... トレンドタイプ

約定結果

| 約定仕数 | 初期仕数 | 約定仕数 |
|------|------------|----------|
| 149件 | 3,189,259円 | 8,780万通貨 |

- 収益得点 【9点】

| 収益率 | 1日 | 損失 |
|-------|------------|-------------|
| 0.408 | 6,176,400円 | -4,842,600円 |
- 勝率得点 【5点】

| 勝率 | 勝率約定仕数 | 負け約定仕数 |
|-----|--------|--------|
| 45% | 67件 | 78件 |
- 効率得点 【8点】

| 収益対平均仕数(約定) | 勝率約定仕数 | 負け約定仕数 |
|-------------|----------|----------|
| 148:1 | 4,020万通貨 | 4,880万通貨 |
- 深空時間得点 【7点】

| 平均深空時間 | 深空時間(勝ち) | 深空時間(負け) |
|-----------|------------|-----------|
| 3時間43分40秒 | 48時間32分47秒 | 3時間49分58秒 |
- 約定人数得点 【10点】

| 約定仕数/人 | 最大約定仕数 | 標準偏差 |
|--------|--------|------|
| 0.00 | 80万通貨 | 0.00 |

アドバイス
 利根、利に比べて勝切は多く、リスクは取る程度で設定されています。また1日当たりの注文数も比較的多く、リスクが把握、やり直しも発生しやすいです。現在のトレードスタイルを維持し、継続的な改善を心がけてください。引き続き安定した収益を目指してください。

掲載されているレポートの内容は、ある一定期間においてお客様が行われた実際の取引結果に基づいて作成したものです。取引スタイルやFXの市場環境は日々変化し、一概に「高確率で安定した収益を上げる方法」が保証されることがありません。また、過去の取引結果を基に、今後の取引結果を予測することはできません。過去の取引結果は、お客様自身で行ってください。

勝つためのトレードスタイルやトレード手法を勉強できます!

多角的な観点から分析!
 客観的な数値データを提供
 第三者視点でのアドバイス掲載

IV. 業績の推移





四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位：百万円

| | 2013/3期 | 2014/3期 | | | | 2015/3期 | | | 前四半期 対比増減 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|
| | 4Q (1月~3月) | 1Q (4月~6月) | 2Q (7月~9月) | 3Q (10月~12月) | 4Q (1月~3月) | 1Q (4月~6月) | 2Q (7月~9月) | 3Q (10月~12月) | |
| 営業収益 | 1,504 | 1,569 | 1,179 | 1,142 | 1,365 | 969 | 1,167 | 1,618 | 38.6% |
| 受入手数料 | 17 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 49.7% |
| トレーディング損益 | 1,473 | 1,563 | 1,171 | 1,136 | 1,359 | 963 | 1,155 | 1,601 | 38.6% |
| 金融収益 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 | △1.4% |
| その他の売上高 | 9 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 6 | 9 | 49.5% |
| 金融費用 | 21 | 16 | 16 | 16 | 17 | 18 | 18 | 18 | △0.2% |
| 売上原価 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| 純営業収益 | 1,476 | 1,552 | 1,163 | 1,125 | 1,347 | 950 | 1,149 | 1,599 | 39.2% |
| 販売費・一般管理費 | 1,260 | 1,112 | 973 | 964 | 1,039 | 912 | 981 | 1,086 | 10.8% |
| 営業利益 | 216 | 440 | 189 | 161 | 307 | 38 | 167 | 512 | 205.5% |
| 経常利益 | 224 | 427 | 197 | 162 | 328 | 41 | 182 | 513 | 181.5% |
| 税金等調整前四半期純利益 | 202 | 412 | 194 | 157 | 327 | 41 | 178 | 505 | 183.1% |
| 四半期純利益 | 124 | 247 | 119 | 96 | 200 | 21 | 117 | 325 | 177.7% |
| 営業収益経常利益率 | 14.9% | 27.2% | 16.7% | 14.3% | 24.1% | 4.3% | 15.6% | 31.8% | |

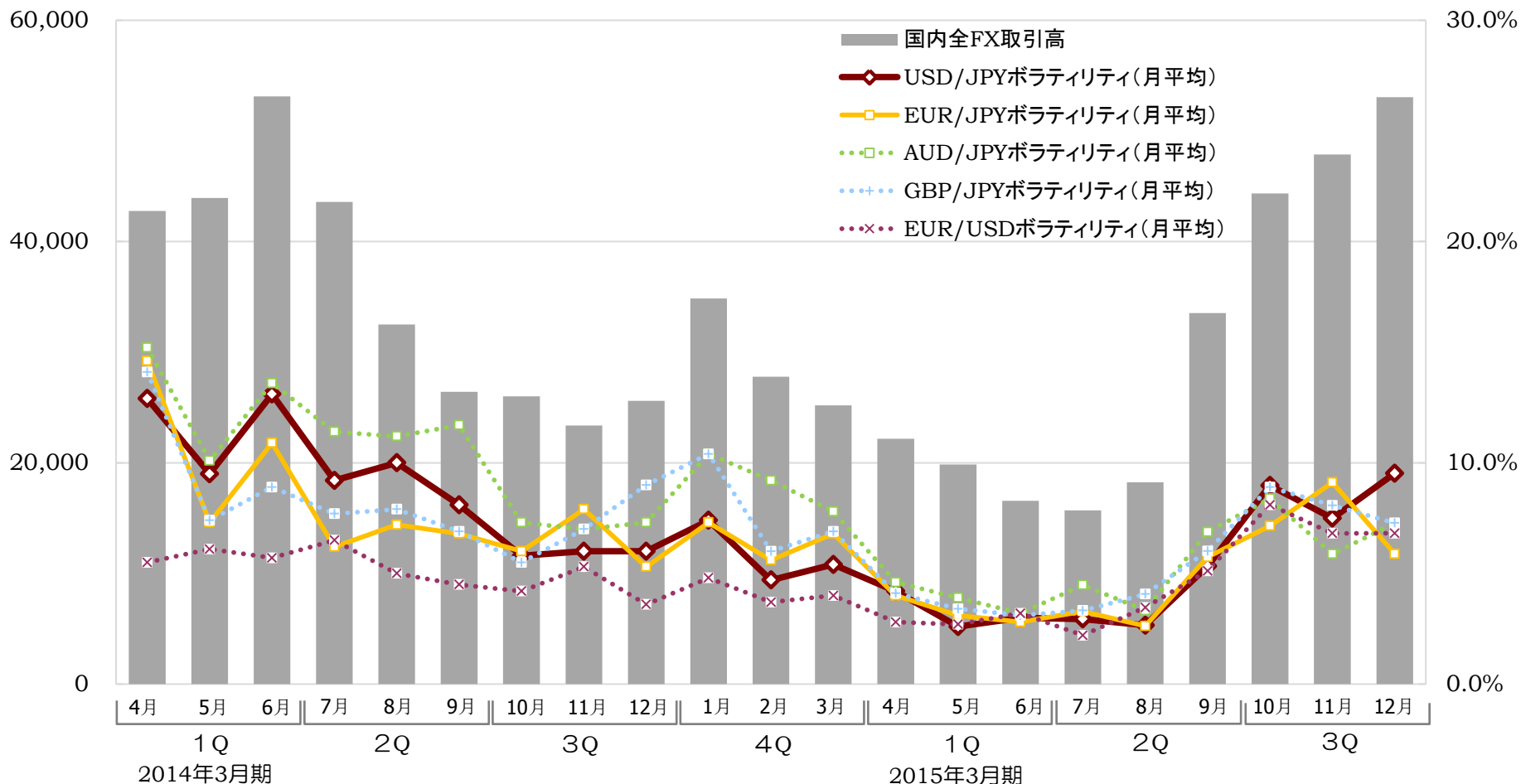
営業収益は、外国為替取引高が増加したことで前四半期比38.6%増加。販売費・一般管理費は前四半期比10.8%増加したものの、経常利益は前四半期比181.5%増と大幅に増加し、期初来累計の損益は前年同期並みの水準にまで回復。



2014年3月期～2015年3月期のFX市場の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



2014年5月以来の歴史的とも言える超低ボラティリティ相場は概ね8月まで継続し、その後米国早期利上げに対する思惑や日銀金融緩和の拡大から米ドルが急騰、足元ではボラティリティは回復。国内全FX取引高は、ボラティリティに連動する形で8月まで低迷の後、10月以降急激に増加。

V. 経営戦略





2015年3月期の重点施策

Money Partners Group

重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大と収益化
- 顧客基盤の多様化と収益率の更なる向上

収益

- ★ 収益性継続の改善

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み



中長期的な経営戦略 ～独自ポジションの構築

FX取引
CFD取引
店頭取引

実需
外貨受取・引受け
カード



資産運用
証券取引
代用有価証券

FXを軸とした外国為替・資産運用の専門店を目指す！

VI. 当社の株主還元について





株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向・・・連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会・・・**中間及び期末**（年2回）

| | 2014年3月期 | | | | 2015年3月期 | | | |
|-----------------------|---------------------------|-----|--------------------------------------|-----|---------------------------------|-----|-----|----|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 当期純利益(百万円) | 247 | 119 | 96 | 200 | 21 | 117 | 325 | |
| 上段:3ヶ月 | 247 | 366 | 463 | 663 | 21 | 139 | 465 | |
| 下段:累計 | | | | | | | | |
| 配当金の総額 (百万円) | 90 | | 120 | | 45 | | | |
| 期末発行済 株式総数(株) | 322,110 (内、自己株式20,023) | | 32,223,000 ※1、2 (内、自己株式2,002,300) | | 32,241,000 (内、自己株式2,002,300) | | | |
| 1株当たり 中間・期末 配当金 | 300円 | | 4円 | | 1.5円 | | 未定 | |
| 年間 | 7円 ※3 | | | | 未定 | | | |

※1 2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

※2 2014年3月期末の発行済株式数であります。

※3 2014年3月期の期首に株式分割が行われたものと仮定して、1株当たりの配当金額を算出しております。

参考資料



販管費推移
収益構造
FX取引の仕組み
グループ概要



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位：百万円

| | 2013/3期 | 2014/3期 | | | | 2015/3期 | | | 前四半期 対比増減 |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|--------------|
| | 4Q (1月~3月) | 1Q (4月~6月) | 2Q (7月~9月) | 3Q (10月~12月) | 4Q (1月~3月) | 1Q (4月~6月) | 2Q (7月~9月) | 3Q (10月~12月) | |
| 取引関係費 | 400 | 259 | 224 | 240 | 293 | 214 | 249 | 311 | 24.6% |
| 人件費 | 244 | 257 | 234 | 231 | 242 | 225 | 233 | 246 | 5.6% |
| 不動産関係費 | 216 | 154 | 153 | 146 | 154 | 154 | 161 | 156 | △3.2% |
| 事務費 | 233 | 283 | 226 | 224 | 226 | 189 | 213 | 249 | 16.9% |
| 減価償却費 | 143 | 122 | 111 | 99 | 98 | 94 | 94 | 95 | 1.5% |
| 租税公課 | 12 | 15 | 13 | 13 | 15 | 15 | 18 | 17 | △1.3% |
| 貸倒引当金繰入れ | — | — | — | — | 0 | — | — | — | — |
| その他 | 9 | 19 | 10 | 8 | 8 | 17 | 10 | 10 | △6.8% |
| 販売費・一般管理費合計 | 1,260 | 1,112 | 973 | 964 | 1,039 | 912 | 981 | 1,086 | 10.8% |

(主要な費目)

| | | | | | | | | | |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|--------------|
| 広告宣伝費(※1) | 72 | 79 | 83 | 112 | 158 | 91 | 113 | 132 | 16.9% |
| システム関連費用(※2) | 362 | 349 | 285 | 268 | 290 | 247 | 285 | 332 | 16.5% |

※1 取引関係費の一部となります。

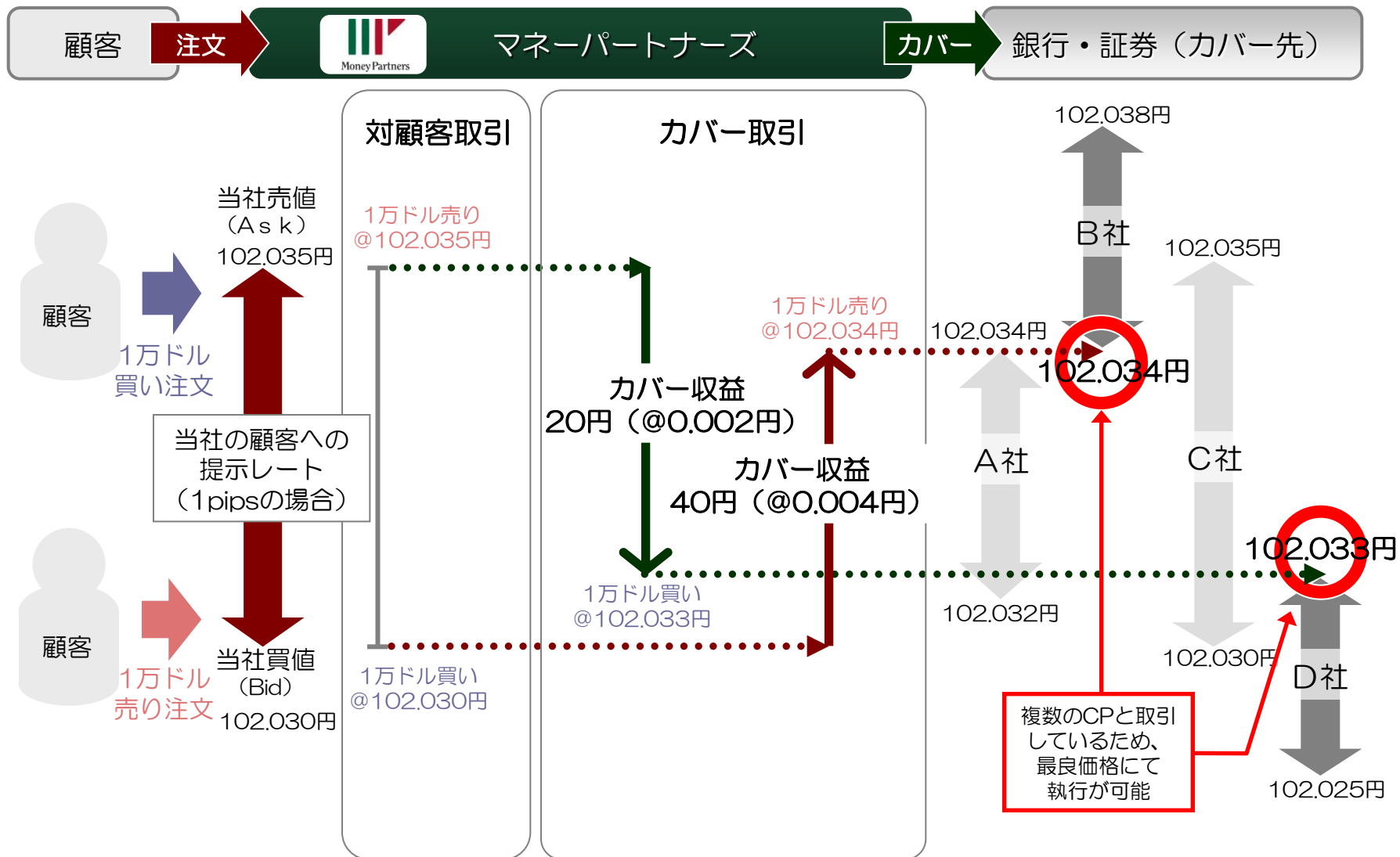
※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

外国為替取引高の増加に伴い、変動費である取引関係費が前四半期比24.6%増加。事務費の増加（前四半期比16.9%増）は、ほぼシステム関連費用の増加であり、変動費部分の増加とマネパカードのサービス開始に伴う固定費の増加が主な要因。



当社グループの収益構造

Money Partners Group





FX取引の仕組み

Money Partners Group

1ドル=100円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

(為替レート)

ドル高・円安
の進行

1ドル=101円
(値上がり)

売り=1万米ドル
(円換算101万円)

101万円-100万円=
1万円の利益

ドル/円を1万通貨単位『売り』

(為替レート)

ドル安・円高
の進行

1ドル=99円
(値下がり)

買い=1万米ドル
(円換算99万円)

100万円-99万円=
1万円の利益

どちらからでも
取引開始が可能



グループ概要（平成26年12月31日現在）

| | |
|----------|-------------------------------------|
| ■商号 | 株式会社マネーパートナーズグループ |
| ■本社 | 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F |
| ■代表者 | 代表取締役社長 奥山 泰全 |
| ■設立日 | 2005年6月10日 |
| ■資本金 | 18億1,757万円 |
| ■純資産 | 106億円 |
| ■発行済株式総数 | 32,441,400株 |



■当社グループの事業内容

株式会社マネーパートナーズ（100%子会社）

加入協会：日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

登録番号：関東財務局長（金商）第2028号

事業内容：

- (1) 金融商品取引法に規定する第一種金融商品取引業
- (2) 外貨両替業務
- (3) 資金移動業
- (4) 商品先物取引業

株式会社マネーパートナーズソリューションズ（100%子会社）

事業内容：

- (1) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守
- (2) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング
- (3) 前各号に関連する企画、調査、研究、コンサルティング及びこれに付帯関連する一切の業務



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2015年3月22日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2015年3月22日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会